

【“飲みにケーション”に関する調査】**職場の“飲み会”に参加したくない 50.7%**

職場の“飲み会”参加したい？…「参加したくない」50.7%。

参加したくない理由：職場の人間と飲んでも楽しいとは思わない。

セクハラやアルハラが横行するから など

「識学」を使った経営・組織コンサルティングや従業員向け研修を展開する株式会社識学（本社：東京都品川区、代表取締役社長：安藤広大）は、2024年1月19日（月）「飲みにケーション」に関する調査を行いました。

20代～50代の会社員に、忘年会や新年会など、職場での“飲み会”が開催されるのかどうかを聞いたところ62.1%が「ある」と回答し、最も多かったのは「忘年会」で46.9%でした。また、そんな会社での“飲み会”に、参加したいかどうかを聞いたところ、50.7%が「参加したくない」と回答しました。年代別でも20代～50代まで大きな差はなく、“若い世代だから”といって飲み会へ参加したくないという傾向はありませんでした。

では、職場の“飲み会”には「参加したくない」が過半数に達した一方で、“飲み会”における職場の人たちとのコミュニケーション、いわゆる“飲みにケーション”は必要なのでしょうか。その内訳をみると、「必要だと思う」が51.0%という結果になりました。こちらは年代別にみると、「必要だと思う」が20代44.6%、30代46.6%、40代～50代59.6%と、年齢層が高くなるにつれ、“飲みにケーション”の必要性を感じている割合が高くなっているという傾向がみられました。

■調査背景

コロナ禍における会食自粛の影響や、若い世代の“アルコール離れ”、またライフワークバランスの観点から仕事とプライベートを分けて考えることが当たり前になってきた今、様々な世代の人たちが一堂に会する職場での“飲み会”は、以前ほどポジティブなものとは捉えられていないでしょう。しかし、リモートワークが増えるなど、人とのコミュニケーションがより密にできる機会が必然的に減少していることも確かで、“飲み会”という場は今でこそ貴重とも言えます。

そこで今回は、職場における“飲み会”事情を調査しました。その中で、今では“死語”にもなっている飲み会における人とのコミュニケーション“飲みにケーション”は必要なのかなど、様々な視点から調査を行いました。

トピックス

- ・職場の“飲み会”開催されるものトップは「忘年会」、 “飲み会”開催なしも4割弱
- ・“飲み会”参加する？…「参加する」8割、役職者は9割超え
- ・職場の“飲み会”参加したい？…「参加したくない」50.7%
→その理由…職場の人間と飲んで楽しい？セクハラやアルハラが横行するから など
- ・職場の“飲み会”は強制？任意？…「任意参加」58.3%、「任意だが強制に近い」36.3%
- ・本当は「参加したくない」…正直に伝えられなかった44.9%
- ・“飲みにケーション”は必要か！？…「必要」51.0%、40～50代・役職ありでは高い傾向
- ・“ランチ会”であれば参加したい？…「参加したい」46.7%

< 報道関係者様からの本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社識学 広報担当：新村

TEL：03-6821-7488 メールアドレス：mark@shikigaku.com

**職場の“飲み会”開催されるものトップは「忘年会」、 “飲み会”開催なしも 4 割弱
“飲み会”参加する？…「参加する」 8 割、役職者は 9 割超え**

Q1.あなたの職場で開催される“飲み会”はどのようなものがありますか。
(複数回答、n=2493)

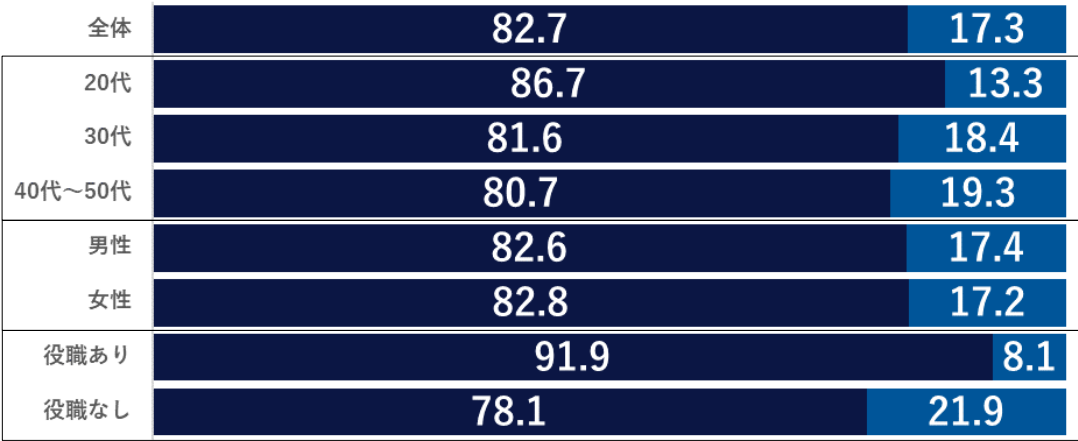
職場で開催される“飲み会”トップ5 (複数回答、n=2493)		
1	忘年会	46.9%
2	歓迎会	31.2%
3	送別会	29.4%
4	新年会	26.2%
5	親睦・懇親会	18.0%
-	職場で開催される飲み会はない	37.9%

SHIKIGAKU CO., LTD.

従業員数 10 名以上の企業に勤める 20 代～50 代の会社員の方に、あなたの職場で開催される“飲み会”についてどのようなものがあるのかを聞いたところ、「忘年会」が 46.9%とトップで、「歓迎会」31.2%、「送別会」29.4%と続きました。総じて 62.1%の企業が何らかの“飲み会”を開催しており、一方で 37.9%の企業が“飲み会”を開催していないという結果でした。

【以降、職場で“飲み会”が開催されると回答した方】

Q2.あなたは職場の“飲み会”に参加することはありますか。
(複数回答、n=300)



■ 参加することがある ■ 参加することはない SHIKIGAKU CO., LTD.

職場で“飲み会”が開催されるという方にその参加の有無について聞いたところ、「参加することがある」 82.7%、参加することはない 17.3%という結果でした。男女別・年代別で比較してもその差はあまりありませんでしたが、役職の有無でみると、役職ありの方の「参加する」は 91.9%と、役職のない方の「参加する」 78.1%と大きな差がみられました。当然、役職者の方は会社主催の“飲み会”には参加しなければならないという意識が強いのでしょうか。

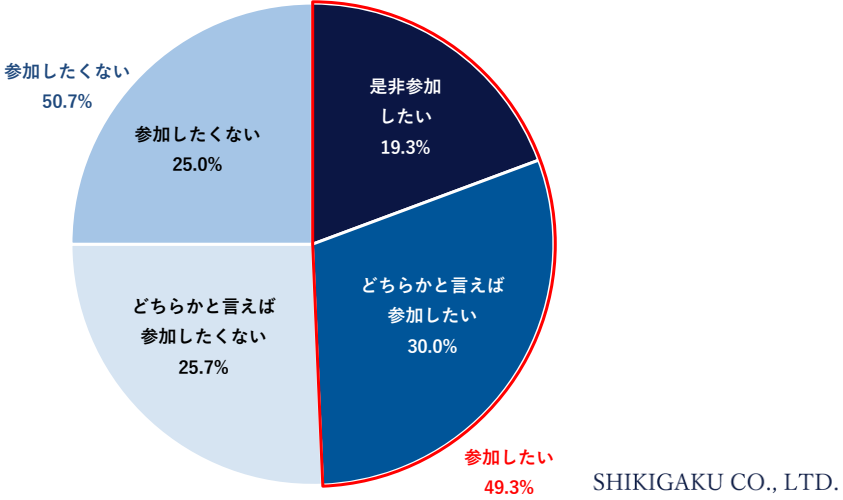
職場の“飲み会”参加したい？…「参加したくない」50.7%
参加したくない理由…職場の人間と飲んで楽しい？セクハラやアルハラが横行するから など

Q3.あなたは職場の“飲み会”に参加したいですか。

(単数回答、n=300)

Q4.上記のように回答した理由をお答えください。

(自由回答、n=300)



職場の“飲み会”に「参加する」という方が8割を超えましたが、“飲み会”積極的に「参加したい」という方はどのくらいいるのでしょうか。その内訳をみると、「ぜひ参加したい」19.3%、「どちらかと言えば参加したい」30.0%、合計して「参加したい」と回答したのは49.3%でした。8割以上の方が「参加する」けれど、約半数の方は、実のところ「参加したくない」ということがわかりました。

では、その理由は何でしょうか。
 職場の“飲み会”に「参加したい」「参加したくない」いずれの方にも理由をお聞きしました。

【“飲み会”に参加したい】

- ・テレワークが多くなって対面で話す機会が貴重になってきているから。(45歳男性)
- ・送別会、歓迎会は出席しないと後々取り残されそうだから。(31歳男性)
- ・コロナ禍は職場の人とのコミュニケーションがとれなかったのでぜひ参加してみたい。(37歳女性)
- ・仕事以外で楽しくほかの社員とゆっくり話ができるいい機会だから。(49歳女性)
- ・親睦がはかれるから。横のつながりかできるから。(40歳男性)

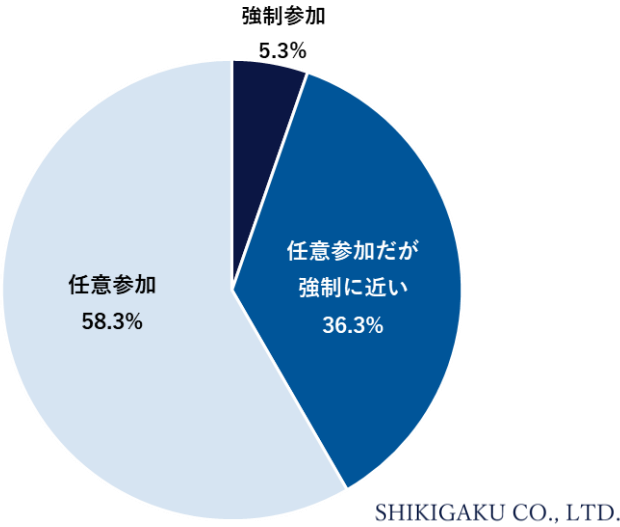
【“飲み会”に参加したくない】

- ・勤務時間以外で会社の人と飲んだり食べたりしたくないから。(49歳女性)
- ・職場の人間と飲んで何が楽しいのか…時間の無駄はしないことにしています。(45歳女性)
- ・年配男性ばかりでお酒が入るとセクハラ発言やアルハラが横行するから。(39歳女性)
- ・飲み会の席でなんとなく、ぼっちに感じるので…。(49歳男性)
- ・お酒が飲めない者にとっては苦痛でしかない。(53歳女性)

その他、「参加したくない」理由の中には、「お金がかかる」といった回答もあり、会費がネックとなっている方も多くいるようでした。

**職場の“飲み会”は強制？任意？…「任意参加」58.3%、「任意だが強制に近い」36.3%
本当は「参加したくない」…正直に伝えられなかった44.9%**

Q5.あなたの職場の“飲み会”の参加について、近いものをお答えください。
(単数回答、n=300)

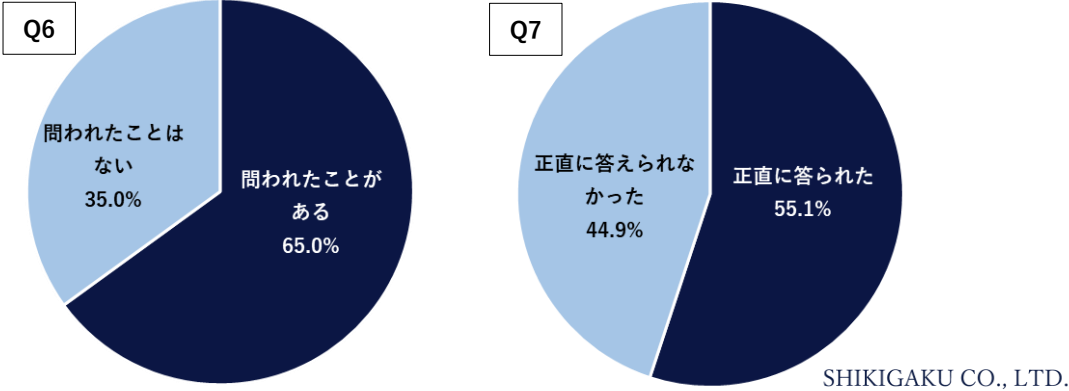


続いて、職場の“飲み会”の参加方法について聞きました。参加は強制か任意かについては、「任意参加」が58.3%と最も多く、「強制参加」についてはわずか5.3%でした。しかし「任意だが強制に近い」は36.3%と、“参加せざるを得ない空気”がある企業もまだまだ多い様子でした。

Q6.あなたは職場で“飲み会”に参加したいかどうかを問われたことはありますか。
(単数回答、n=300)

Q7.職場の“飲み会”には、参加したくないと回答し、また前問で、飲み会に参加したいかどうかを、
"問われたことがある"と回答した方にお聞きします。

参加したくないという、自分の思いを正直に回答、伝えることはできましたか。
(単数回答、n=89)



前問にて“参加せざるを得ない空気”が少なからずあることがわかりましたが、その参加有無について、正直に答えることはできたのでしょうか。そのことについて聞くために、“飲み会”に参加するか問われたことがあるか（出席表等も含む）を聞いたところ、65%が「問われたことがある」と回答しました。その中で、「参加したくない」と正直に答えられたかどうかを聞いてみると、「正直に答えられた」が55.1%いる一方で、約半数弱の方は正直に回答できないとのことで、“飲み会”に本当は参加したくないけれど、正直に言えない…と悩む方も当然多くいることもわかりました。

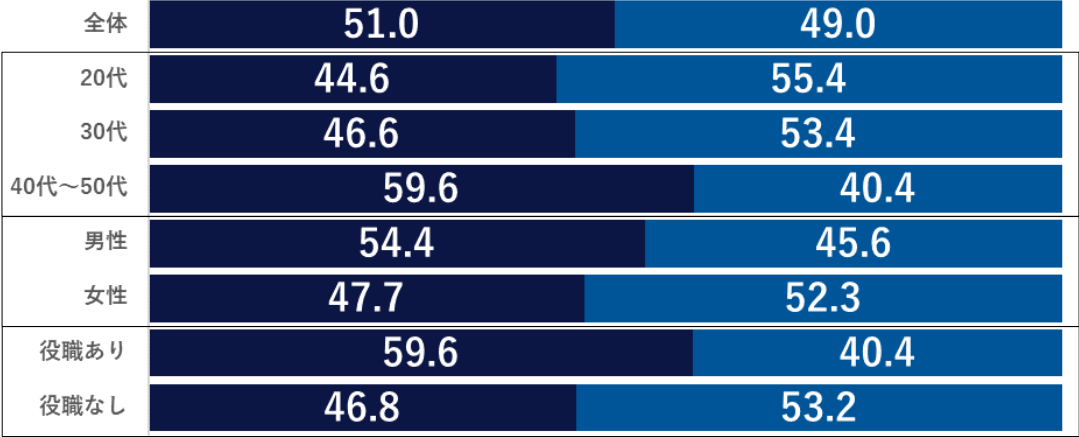
“飲みにケーション”は必要か！？…「必要」51.0%、40～50代・役職ありではより高い傾向
 「必要」な理由…仕事を離れて親睦を深めると、仕事とは違った見方ができるから など

Q8.飲み会におけるコミュニケーション、いわゆる“飲みにケーション”について、あなたは必要だと思いますか。

(単数回答、n=300)

Q9.上記のように回答した理由をお答えください。

(自由回答、n=300)



■ 必要だと思う ■ 必要だとは思わない SHIKIGAKU CO., LTD.

では、“飲み会”だからこそ得られる有益なコミュニケーションはあるのでしょうか。つまり“飲みにケーション”は必要だと思うかどうか聞いてみると、全体では 51%の方が「必要だと思う」と回答しました。属性別にみると、「必要だと思う」が過半数に達したのは、40代～50代、男性、役職ありの3属性で、特に「役職あり」の方は 59.6%と、「役職なし」の方よりも多くの方が“飲みにケーション”の有効性を感じているようでした。

その理由については以下のとおりです。

【“飲みにケーション”は必要】

- ・壁がなくなる感じがするから。(48歳男性)
- ・アルコールの有無は問わないが、仕事を離れて親睦を深めると、仕事とは違った見方ができるから。(49歳女性)
- ・出世したい人にとっては必要なのかもしれない。(38歳男性)

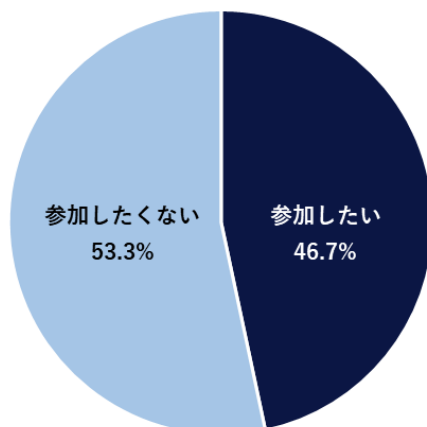
【“飲みにケーション”は必要ではない】

- ・酒が入っていると普段の性格より良くも悪くも変わってしまう人が多いし、飲み会でコミュニケーションをとる必要性はないと思うから。(26歳女性)
- ・飲みの場でなくてもコミュニケーションはとれるから。(28歳女性)
- ・飲まないのとれないコミュニケーションなら大事でなさそうなのでとらなくてもいいと思う。(27歳女性)
- ・個人的には飲み会は好きだが、当然苦手な人もいるわけで、強制してくる会社は今の時代に合っていないと思うから。(31歳男性)

< 報道関係者様からの本件に関するお問い合わせ先 >
 株式会社識学 広報担当：新村
 TEL：03-6821-7488 メールアドレス：mark@shikigaku.com

Q10.“飲み会”ではなくそれにかわる“ランチ会”があった場合、あなたは参加したいですか。

(単数回答、n=300)



SHIKIGAKU CO., LTD.

最後に、アルコールや夜開催ではない“飲み会”にかわる“ランチ会”があった場合、参加したいかどうかについて聞いてみると「参加したい」は46.7%で、“飲み会”に参加したいと回答した49.3%と変わらないという結果でした。

【まとめ】

今回の調査で、職場の“飲み会”に8割以上の方が「参加する」けれど、約半数の方は、実のところ「参加したくない」ということがわかりました。またその参加したいかどうかについては、どの層をみてもあまり差はなく、若い世代だから、男性だから女性だからといった理由は関係ないようでした。一方で、“飲み会”でのコミュニケーション、つまり“飲みにケーション”が必要かどうかについては、40代～50代、男性、役職ある方だけが「必要だと思う」が5割を超えており、こちらは年代や性別などの層によって差が生じているようでした。

続いて、“飲みにケーション”について「必要」と回答した方の内訳をみてみると、“アルコールの有無は問わない”といった意見があり、また「必要ない」と回答した方も、アルコールが入ることの意味を疑問視する意見が多く挙がりました。このことから、社内で良好なコミュニケーションを保つためには、少なくともアルコールは必須ではなく、加えて“ランチ会”の参加有無も“飲み会”の数値と比較して変わらなかったことから、どこか別の場所でそれを求めているわけでもなく、やはり社内のできるコミュニケーションは社内ですべて完結することが一番の理想と断言していいでしょう。

そして何より、コミュニケーションの重要性は、“飲み会”賛成派反対派どちらも同じように同じだけ持っているはず。だからこそ、“飲み会”に頼らない、社内コミュニケーションの円滑化をどのようにはかっていくか、会社側が意見を取りまとめ、整えていくことが重要でしょう。

■調査概要

調査機関：株式会社識学

調査対象：20歳～59歳の会社員

有効回答数：300サンプル

調査期間：2024年1月22日（月）

調査方法：インターネット調査

※本調査では、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、数字の合計が100%とならない場合があります。

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「株式会社識学が実施した調査結果によると……」

< 報道関係者様からの本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社識学 広報担当：新村

TEL：03-6821-7488 メールアドレス：mark@shikigaku.com



■識学について

<https://corp.shikigaku.jp/>

【会社概要】

会 社 名：株式会社識学（SHIKIGAKU. Co., Ltd.）

<https://corp.shikigaku.jp/>

本社所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎 2-9-3 大崎ウエストシティビル 1 階

電 話 番 号：03-6821-7560

事 業 内 容：「識学」を使った経営、組織コンサルティング

「識学」を使った従業員向け研修

「識学」をベースとした web サービスの開発、提供

「識学」関連書籍の出版

設 立：2015 年 3 月

代 表 者：代表取締役社長 安藤 広大

従 業 員 数：232 名（※役員・パートアルバイト除く） ※2023/8/31 時点

支 店 情 報：■大崎分室

〒141-0032 東京都品川区大崎 2-11-1 大崎ウィズタワー 8 階、19 階

電話番号：03-6821-7560

■大阪支店

〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 3-3-9 田村駒ビル 3 階

電話番号：06-4400-6231

■名古屋支店

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-20-30 伏見フロントビル 10 階

電話番号：052-990-6577

■福岡支店

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-6-7 JRE 天神クリスタルビル 2 階

電話番号：092-600-7990

< 報道関係者様からの本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社識学 広報担当：新村

TEL：03-6821-7488 メールアドレス：mark@shikigaku.com